

文化の窓

英国・国立ウエールズ美術館展

——イギリス風景画から印象派へ——

この展覧会では、モネ、ピサロなど印象派を中心に、英国の国民的画家ターナー、英国風景画の父、リチャード・ウィルソン、フランス近代風景画の祖クロード・ロラン、さらにコロロ、ミレーらを代表とするバルビゾン派、セザンヌ、ゴッホ、ルノワールら、後期印象派の作品など、

ウエールズ国立美術館の一級のコレクション90点（油彩73点、水彩12点、彫刻5点）が展示されます。

会期

八月三十日(土)～九月二十八日(日)
月曜休館(祝・祭日は開館。九月十六日、二十四日は休館) 午前九時三十分～午後五時
九月五日、十二日、十九日、二十六日は午後八時まで開館。(夜間開館)

会場

福島県立美術館

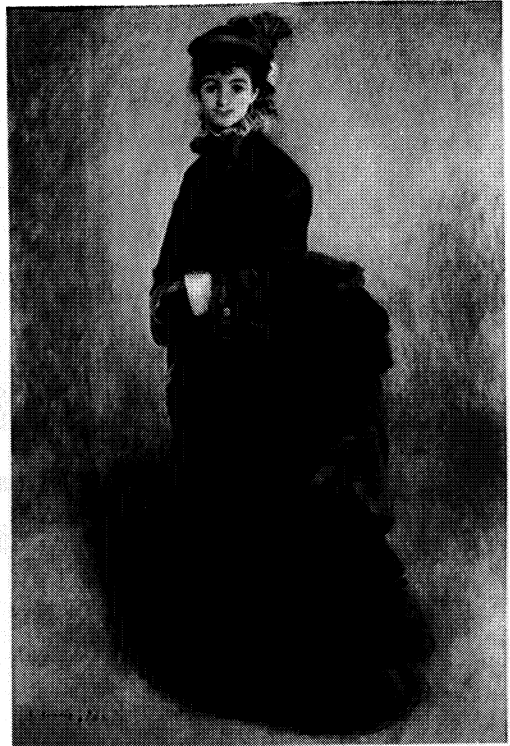
観覧料

一般・大学…八〇〇円(六五〇円)
高校生…六〇〇円(五五〇円)
小・中学生…四〇〇円(三〇〇円)
※(一)内は二十名以上の団体料金です。

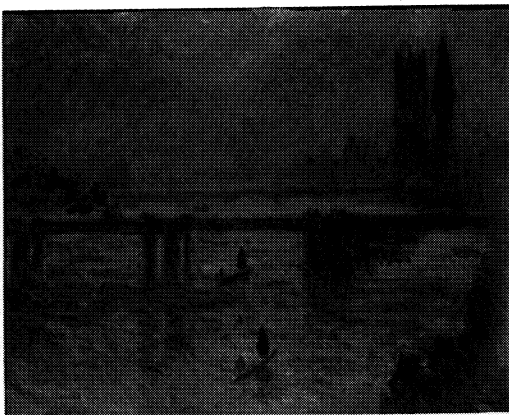
なお、詳細については、四十八ページを参照下さい。



リチャード・ウィルソン「ベン・ボンズ、チッチモンド・パーク」
キャンバス、油彩104.1×149.9cm



ルノワール「パリジェンヌ」1874年
キャンバス、油彩、160×105.4cm



クロード・モネ「チャーリング・クロス橋、ロンドン」
キャンバス、油彩 65.4×81.3cm 1902年